

<p>第 211 回 都市懇サロン レポ ー ト</p>	<p>「平成 29 年度都市局関係施策の概要について」</p>		
<p>講 師</p>	<p>国土交通省都市局まちづくり推進課 官民連携推進室長 中村 健一 氏</p>	<p>開 催 日</p>	<p>平成 29 年 5 月 16 日(火) 18 : 00 ~ 20 : 00</p>
<p>講 師 プロフィール</p>	<p>平成 2 年 建設省(当時)入省 平成 20 年 岡山市都市・交通・公園担当局長 平成 22 年国土交通省都市局街路交通施設課企画専門官 平成 25 年 仙台市都市整備局理事兼復興事業局理事 平成 27 年 1 月から現職</p>		
<p>お話の概要</p>	<p>●今年度予算のベースとなる、国交省で現在重点的に議論・検討している内容と最新の動向について説明された。</p> <p><平成 29 年度都市局関係予算の 6 つの基本方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 熊本地震で被災した宅地の復旧・耐震化、被災市街地の復興等を着実に推進する。 2. 地域の優れた景観、歴史的建造物等の地域資源を活用したまちづくりを推進する。 3. 子育て世代や高齢者が安心できる生活環境、持続可能な地域経済圏の実現、まちの賑わいを創出するため、都市機能の集約・再編等によるコンパクトシティを推進する。 4. 都市機能の集積や交通利便性及び防災機能の向上を図り、大規模都市開発プロジェクトを推進するとともに、我が国の都市の魅力を発信することで国際競争力を強化する。 5. 官民連携による都市公園、緑地等のオープンスペースを確保することにより、緑豊かなまちづくりを推進する。 6. 我が国の都市開発の強みと魅力の発信、新興国への重点的支援等により、日本型都市開発モデルの海外展開を推進し、我が国企業の受注増加を目指す。 <p><コンパクトシティの形成に向けて(方針 3 に関連)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト・プラス・ネットワークの効果の見える化として活用できる、ビックデータを使ったシステムを開発・試行中 ・立地適正化計画と地域交通網形成計画を効果的に組み合わせることで、良好なコンパクトシティを実現してほしい →都市局、鉄道局、総合政策局等、省庁横断的な支援を目指す ・モデル都市(10~20 都市)を育成中 →良い事例を育て、全国に横展開する狙い <p><都市緑地法等の一部改正(方針 5 に関連)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市緑地法等の一部を改正する法律を、6 月半ばに施行予定 ・都市公園での保育所等の設置を可能にする、民間による市民緑地の整備を促す制度を創設する、生産緑地の規模基準の引き下げ及び運用の緩和などを検討 ・新たな用途地域「田園住居地域」を創設、六次産業としての農業に適した土地利用が可能になる <p><都市再生(方針 4 に関連)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、都市再生特別措置法等を改正 ・都市の国際競争力・防災機能の強化及びコンパクトで賑わいのあるまちづくりを図るための制度の充実化により、都市再生・地方創生を推進する狙い <p><観光まちづくり(方針 2 に関連)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府全体が重点的に取り組む中、都市局は目に見える形での景観形成促進等を支援 		
<p>意見交換の概要</p>	<p>○区画整理等では補助金が付きづらく、補助金が出るタイミングと事業者の考える事業期間が合わないなど事業が進まないことがある。対策等は考えていますか。 →社会資本自体の減少に加え、社会資本整備総合交付金により自治体の中で予算の采配ができるようになったのが現状。事業立ち上げ時にいかに自治体とコミュニケーションを取れるかが重要となる。</p> <p>○ParkPFI 制度はエリアマネジメントと絡めて全国で展開していく予定なのか。 →直接的に絡めて展開するというものではないが、都市局の中では常にエリマネの支援方策については模索している。</p>		
<p>記録者のひとこと</p>	<p>立地適正化計画は、作成している自治体は多いもののまだまだ作成された計画が十分とは言い難い現状と聞く。行政やコンサル、事業者は、どういった課題に対しどのように使われることを想定して制度や法が策定されているかを理解した上で、それらを運用すべきだと感じた。</p> <p style="text-align: right;">《都市懇サロン運営部会 委員代行 浜口彩音》</p>		